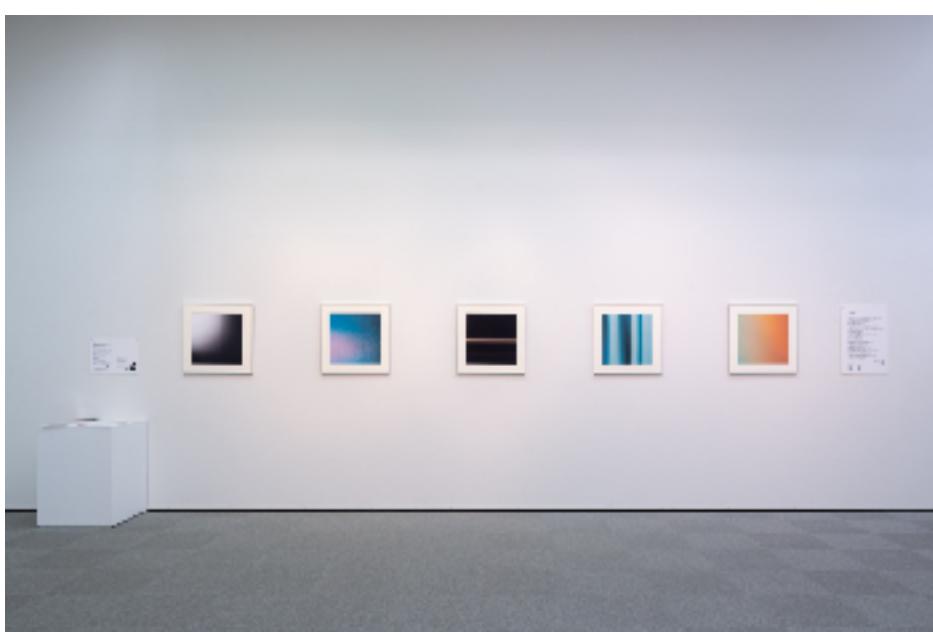


IDEA INQUIRY

理念の探求



Artist Statement

This series does not attempt to represent an idea,
nor to visualize a concept in a direct or symbolic way.
Instead, it focuses on the moment before an image becomes
meaningful—the threshold where perception begins, but understanding has not yet
formed.
The photographs are intentionally unstable.
Orientation, depth, and visual certainty are weakened.
Up and down, foreground and background, clarity and obscurity
are no longer fixed coordinates.
What remains is not an image that explains,
but an image that hesitates.
This hesitation is essential.
To see is not simply to recognize,
but to endure uncertainty—to remain with what cannot yet be named.
“Idea Inquiry” treats photography not as a tool for assertion,
but as a space where thinking is suspended.
The work does not guide the viewer toward a conclusion;
it offers a pause, a silence, in which perception itself becomes visible.
Rather than asking what is being seen,
this series asks how seeing begins.

このシリーズは、
理念を表現することや、概念を視覚化することを目的としていない。
むしろ私が関心を向いているのは、
イメージが意味を持つ直前の状態、
知覚は始まっているが、理解がまだ形成されていない、その境界である。
写真の中では、方向性や奥行き、視覚的な確かさが意図的に弱められている。
上下や前後、明瞭さと不明瞭さといった座標は固定されず、
見る者は安定した位置を与えられない。
そこにあるのは、何かを説明するイメージではなく、
ためらい続けるイメージである。
このためらいは欠落ではない。
見るという行為は、単に認識することではなく、
名付けられない状態に留まり続けることでもある。

「理念の探求」は、
写真を主張のための手段としてではなく、
思考が一時的に停止する場として扱う試みである。
この作品は結論へと導くことをしない。
ただ、知覚そのものが立ち上がる沈黙と間（ま）を提示する。
ここで問われているのは、
何が写っているのかではなく、
見るという行為がどのように始まるのかである。

2025.06.01
Kz-Photography
Morii Kazutaka